

議 長 休憩を解いて再開をいたします。 (13時00分)

お知らせいたします。休憩中に12番 大館議員より所用により午後の本会議を欠席の申し出があり、許可をいたしておりますので御了承願います。

受付番号第3号、田代実君の一般質問を許します。登壇願います。

2 番 田 代 議長の許可をいただきましたので一般質問をさせていただきます。受付番号第3号、質問議員、2番 田代実。件名、提案します！「松田山々頂551m」を新たな観光資源に。

要旨に入る前に、議長にお願いがあります。この質問内容、少し明確化するために、写真等の図書を準備しておりますので、それを掲げて説明してよろしいでしょうか。

議 長 はい、結構です。

2 番 田 代 ありがとうございます。それでは、質問させていただきます。松田町第5次総合計画「観光の振興」の重点施策〈まちづくり戦略〉として117ページ、観光資源の活用と開発の取り組みの中で、観光資源の発掘・活用が掲げられています。町は「発掘」について、どのような取り組みをされてきたのでしょうか。これが1点目の質問です。

2点目です。松田山山頂は観光資源として活用されていません。明治、大正並びに昭和前期の地図では標高566メートルでしたが、ゴルフ場の整備によって現在は551.5メートルになっております。その山頂は、最明寺史跡公園東端のゴルフ場用地、防災無線鉄塔の松田山中継局がある近くです。その隣接で360度展望の好立地にありますと。この辺がちょっと言葉で流してもわかりにくいので写真で説明させていただきます。2月18日に現地踏査を行ってきました、そのとき撮った写真。こう見まして、これがここが道路がありまして、もう少し先に、こちらがチェックメイトの入り口です。こう道路が下ってきて、ここからカーブしてずっと下におりていく中の、前田屋外美術がこの辺にありました。ここから細く入る道があります。ここから上がゴルフ場の13番ホール。多分このあたりが貸付地かな、ゴルフ場貸付地。この道あたりを境に最明寺公園の敷地であるのかな。山頂が、ここを私、登ったんですけども、ここより高いものは見えませんでした。ですから、今、私のお話しした551.5メートル

というのはここになるのではないかというふうに感じております。

そここのところを見ますと、こういう形でゴルフ場が見えます。ここにちょっと柵みたいなのがあって、この向こうが要するにゴルフ場に貸し付けているのかな。こちらが最明寺公園の敷地内なのかなというふうに感じています。多分これが13番ホールで、池越えで…すいません、11番…（「違う違う、13番です。ショート池越え」の声あり）ショートの池越えで13番から打って、こちらのグリーンに乗っかる。それが見える位置にどうもこの山頂があるようです。ここからの展望なんですけれども、この山頂だとちょっとボサがあって見えにくいです。ちょっと離れた、10メートルぐらい離れた山北側に行くと、この富士山の景色です。西平畑公園の富士山もすばらしいんですけども、ここからも最高の景色なのかな。ゴルフ場でいくと12番ホールのあたりから見える富士がこんな形に見えて、または六夜会の松明の灯火、あの場所からもずっとやはりこういったあれが、リュウノホシから見えると思います。ただ、歩いて山まで行って歩いて見える地点は最明寺史跡公園からは見えません。ここまで上がってくると見えるという中です。この公園の中にはちょうど散策路が交錯しています。これが今の富士山が見える場所から北側ですから大野山、これがね、多分大野山です。ですから、富士山もう少し左側で、ちょっと右に首を振ると大野山が見えて、最明寺史跡公園にこちらに行く散策路で、この右側が高松の放牧地だった、昔、牛を放したところがある。こちらのほうに行くと、最明寺公園…ごめんなさい、寄自然休養村に行ける場所だと。山頂の横にこういう道標がありまして、その近くから見える景色は非常にすばらしいというふうに私、再認識しました。

そこで、西平畑公園や寄へのハイキングコース、最明寺史跡公園内散策路をつなぐことによって、今つながっているんですけど、松田山山頂というキーワードではつながっていません。そういったことで、松田山山頂をキーワードにつなぐことによって、新たな観光資源となるのではないかというふうな確信をしました。そこで松田山山頂を新たな観光資源に提案しますということで、町長のお考えについてよろしくお願いします。以上です。

町長 それでは、田代議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。

「第5次総合計画 新まちづくりアクションプログラム」、計画期間は平成27年から30年度となっております。間の施策といたしまして観光資源の活用と開発を掲げ、方針といたしましては、1つ目は新たな観光資源の発掘に取り組むとともに、現存する資源の利活用や保全に積極的に取り組んでいくこと。2つ目は農業、林業、商業の連携による観光づくり、3つ目は松田山から見る富士山、大島、箱根外輪山の景色や澄んだ空気等を観光に生かした取り組みを進めることとなっております。その方針に基づく取り組みの一つといたしまして、観光資源等の発掘・活用を掲げており、事業全体の中で優先的に実施していく重点事業となっております。

さて、御質問のこれまでの観光資源の発掘についての取り組みについてでございますが、今までの観光客のニーズは「見る・食べる・遊ぶ」でありました。この3つのキーワードの最後の一字をとって、皆さん御存じのような観光雑誌「るるぶ」の名称となっているようにございますが、今では「体験・交流・学ぶ・撮る」に変化してきています。地域で稼ぐ上では、このニーズの変化に合わせて地域にあるものを活用する、ふだんやっていることを学びにかえて商品化するなどの工夫により体験型の観光を地域でつくっていくことで、地域や町民の方が担い手になり、みんなで稼ぐ仕組みをつくっていくことなど、新しい魅力を掘り起こすことはもとより、今まで実施している事業を新たな視点でさらに磨けていくブラッシュアップも発掘の一つと考えております。

その中、アクションプログラムの計画期間となっております平成27年度以降では、まつだ桜まつりを初め、きらきらフェスタ、ロウバイまつりなどの事業を少しずつブラッシュアップし、寄ふれあいドッグランと体験実習館を寄七つ星ドッグラン及びカフェとしてリニューアルをしています。

また、新たな事業といたしましては、平成29年度に寄の地域資源を生かして稼ぐことが地域づくりを主眼として、寄七つ星ヒーリングビレッジ事業の中で、都市部の住民を対象として、里芋の収穫体験、畑の整備、バーベキュー、藍染めなどを行う農業体験プログラムの実施や農家民宿を実施していただける方を見出していく必要があることから、各種講演会を開催したところでございます。今後、寄地区において自立経営ができる事業として、農家民泊事業を実施して

いただくことを期待をしているところでもございます。町に来訪していただくためには、観光される皆様にも松田町にこんなところがあるのか、このような体験ができるのかななどを、町の観光資源として知っていただくことが大切になりますので、継続して町や観光協会のホームページ、スマートフォンを利用したソーシャルネットワーキングサービスの活用や包括連携協定を締結している関係企業の皆様方の御協力をいただきながら、町の観光資源の周知に努め、観光客の増加に結びつけてまいりたいと考えております。

次に、御提案をいただきました松田山山頂を観光資源としての活用については、議員のお考えのとおり松田山山頂から見える富士山、大島、箱根外輪山の景色や澄んだ空気など、松田町にある豊かな自然環境とハイキングコースや散策路にてつなぐことが新しい観光資源になるとも思います。さらには、農業、林業、商業との連携した魅力ある観光事業を軸とした地域経済の発展を図ってまいりたいとも考えております。

また、中期的な目標といたしましては、本年4月以降になるかと考えておりますが、課長級職員によるプロジェクトチームを発足し、これまでの歴史的な背景を確認し合い、その後、松田山の保全並びに利活用に関する町の基本的な考え方などを整理した後に、農業委員会、農業・林業従事者方々、その他関係者の皆様方を一堂に会した協議会を立ち上げて、意見集約を進めていきたいとも考えております。今後、その中で最明寺史跡公園や寄地区へ誘う松田山みどりの風自然遊歩道との連携、またゴルフ事業者様、またパラグライダー事業者様などとも連携し、町の観光資源として研究し、そのほかの新たな観光資源といたしましても、さまざまな活用方法について話し合いを進めてまいりたいというふうに考えていますので、その節には御協力賜りますよう何とぞよろしくお願いを申し上げます。以上でございます。

2 番 田 代 御回答ありがとうございました。それでは、順次再質問させていただきます。

まず初めに、観光資源の発掘ということで、取り組み状況についてお話ありました。私、何をこれをテーマにしたか、今回の論点にしたかと申しますのが、観光資源を発掘する、そのことがすごい町が活性化する大きな施策の一つではないかというふうに考えております。よく活性化という言葉を使いますが、

教育面での活性化と経済面での活性化はちょっと違うんじゃないかと。今回、経済面での活性化ということで発言させていただきますと、町に人が集まって、にぎやかになって、お金が落ちる、町が元気になる。それはやっぱり経済面での活性化なのかなと考えます。

そういった中での取り組みですか、経済面での取り組み。私は三、四点ぐらいあるんじゃないかと思うんですけども、活性化による、何ていうのかな、観光資源の発掘による活性化というのかな、あると思うんですけど、経済課長、この辺は経済課長かなりそういった仕事が長いと思うんで、経済課長の個人的な考えでよろしいんで、今まで発掘して活性化した内容、このあたりをちょっと列挙していただくとありがたいんですけど、よろしくお願いします。

観光経済課長 ただいまですね、御質問いただきました、今まで発掘してきた町の観光事業に結びつく内容についてですね、私の思いつくところですね、御発言をさせていただきますので、よろしくお願いします。

まず、松田地区につきましてはですね、ハーブ園の整備等に合わせまして、また近隣の農家との連携を図るということですね、ミカンの木のオーナー制度やもともとありましたみかん狩りなどのですね、観光農園、それに伴いましてですね、ハーブフェスティバル、それから12月に開催しておりますきらきらフェスタなどが松田地区では考えられます。それからですね、当然のことながら一番松田地区でも大きな花火大会等ありましたまつだ観光まつりもその中の一つかと思っております。

また、寄地区につきましてはですね、いろいろな考え方があるかと思いますが、やはり寄の中で一番大きなのは、やはり人が集まるということは若葉まつり、また、それから長くなりましたものにつきましてはですね、やはりロウバイまつりがやはり今、2万人というお客さんが来ていただいていますので、非常に大きくなっているかなというところがございます。

なお、一番松田地区で一番大きなものを忘れてしまいました。まつだ桜まつりでございます。これがもうやはりですね、一番大きくて、やはり松田地区の商工観光にもですね、大きな影響を与えている松田町の中では一番大きい事業ではないかというところでもあります。また、寄地区につきましてはですね、昨

年度、皆様の御理解をいただきまして、リニューアルいたしました寄七つ星ドッグランについてもですね、今後、やはり松田町のもので、大きな財産となつて、これをやはり活用していけばですね、よりよい観光事業が展開できるのかなというふうに見込んでいるところでございます。以上です。

2 番 田 代 明確な回答をありがとうございます。私も大体同じような考えなんですけども、若干ちょっと今、回答になかったことで1点申し上げます。1番目は、昭和40年代から50年代前半に行われた寄自然休養村整備事業、これによって生産型農業から交流型農業にかじを切ったと。松田町はそういった発掘をして、観光農業に転換していったというふうに私は感じています。

2点目が、松田山のチェックメイトによる、市川造園によるゴルフ場の開発です。これについては先ほどお話ししたように、経済面での活性化という視点では、松田町にとって相当の効果を上げたのではないかと。当時、私、役場に入らせていただいたときは、1億円ぐらいの経済効果があるというふうな話が記憶に残っております。その後、娯楽施設利用税が若干減少してしまったんですけれども、それなりに町の財源をしっかりと確保している。町のネームバリューも上げているというふうに考えています。ですから、やはり観光資源を発掘することによって、その町にどれだけ経済効果を与えて、町が裕福になる。そこで住んでいる人が裕福になる。やっぱりすごい大事なことだと思います。

そこで政策推進課長にお願いしますけれども、松田町の今、チェックメイトからの借地料とか、ゴルフ施設利用税、それとあとは総務課長になるかもしれませんが、二ヶ町組合でも地代が入っていると思います。そういったもので直接町に入っているお金、私自身6,000万ぐらいかなという感じしている。前は1億弱というのがゴルフ施設利用税が減って、6,000万、7,000万ぐらいかなと思うんですけど、その辺の数字お持ちでしたらお答え願いたいと思います。

参事兼政策推進課長

すいません、それでは、昨年予算ベースで、すいません、申し上げさせていただきます。チェックメイトカントリークラブのゴルフ利用税が約2,500万円、それから、土地の貸付収入が、これが約3,000万円、それと二ヶ町外組合の配分金として約640万円ですから、足して6,000万ちょっとということになるかと思っています。

2 番 田 代 あと、これ以外に、企画のほうでは数字は持っていないかもしれませんが、必ずゴルフに行けば食事をします。私が聞いているところだと、松田の町内業者を優先して食材、飲み物、そういったものをチェックメイトまで供給していると、食堂でお出ししているというふうに考えます。聞くと、あとそれ以外に売店ですか、売店の売り上げとか、あとは松田町民の方でも働いている人が何人もいます。だから、そういった面で雇用の確保、食材の確保も考えると、先ほどの話、トータルでも1億以上のやはり効果があるのかな。今、減少…町に入るお金は若干減少しましたがけれども、いろんな面での波及効果があるのかなと、そのように感じます。

これは私のあくまでも机上の計算なんですけども、ゴルフ場で最高アッパーで入れる人数が240人ぐらいというふうに聞いています。その人たちのうち大半がそこで食事をされると思います。チェックメイトのね、食事をインターネットで広げてみたんですけれども、大体1,400円から2,000円ぐらい、1,000円から、安いのだと1,000円から2,000円ぐらい。平均で1,500円ぐらいなのかな。うれしかったのは足柄牛って出ているんですよ。神奈川県ブランド、地域名産という形で、足柄牛とか、あとはそういったものが出ています。神奈川ブランド、足柄牛のすき焼き御膳2,200円、もう1つが足柄牛ロースかつ1,400円、手こねハンバーグ1,430円。平均するとね、1,500円ぐらいの、みんなゴルフやる人は経験あると思うんですけど、車でなければビール飲んだ、食事したってすぐ2,000円超えます。運転手の方でも、車を運転される方でも1,500円ぐらいのものは食べているのかな。低く見ると原価率が3分の1として、1,500円の3分の1、500円、または五、六百円、それを今度は240人、毎日来るとは限りません。250日ぐらいので見た場合に、1日当たり12万から15万ぐらい食材、飲み物が原価で使われているのかな。250日それが動いた場合に、私のあくまでも机上の計算ですけれども、3,000万から4,000万近いお金がチェックメイトで使っていただいていると。なおかつそのお金が入ったお金は金融機関、松田の金融機関だと思うんですけど、毎日取りに行っているみたいです。

だから、そのようなことで、1つのそういった施設が発掘されて、誘致することによって、すごい町に貢献しているのかなという最たる例がこのゴルフ場

開発であったのではないかと。当時、子供心にちょっと記憶があるのが、そんな金持ちの場所を使ってどうなんだという、議会でもそんな討論もあったようなんですけども、私はやはり財源のない町がいろいろ考えた結果、町主導で当時の企画課長さんを中心としたプロジェクトのようでした。そのような中であいつた立派な松田のシンボルみたいなのができる、すばらしいなと感じています。

次の関係については、石井課長発言のとおり、西平畑公園を中心としたハーブ館、またミカンのオーナー制、桜の植栽、平成8年に町民記念植樹ということで、苗は町で用意したんですけども、希望者にプレートをつけて、誰が植栽したよというのを当時つけた記憶が残っているんですけども。平成8年に植栽した桜をベースに平成11年から桜まつりを行って、今では20回、もう押しも押されぬ桜まつりとなっています。新しく始まったロウバイ、これについてもやはりやっぱり花をテーマとしたお祭りで、2万人ぐらいの人が来ているというふうに聞いています。

ここで今、私、経済効果にすごいこだわっているんで、石井課長にお伺いしたいです。例えば桜まつり、これについてどのくらいの経済効果があるのかな。昔、平成22年に入り込み客が33万人来たときに、当時の観光協会の事務局長が何かはじいていたような記憶があります。桜まつりで今、どれだけの経済効果があるのかな。それと、あとは寄のロウバイまつり、2万人という話なんですけど、この数字にとって、地域にどれだけの経済効果があるかということで、もし把握しておりましたら教えていただきたいと思います。

観光経済課長　それではですね、まず初めにですね、まつだ桜まつりにつきまして、今年度が20回ということで、昨年度の実績ベースでですね、御説明をさせていただきますとですね、昨年度につきましてはですね、まず、バス、それから駐車場の関係につきましてはですね、約7万8,000人の方にバスを御利用いただきました。なお、駐車場につきましては約1万6,000台の駐車がされましたということで、駐車場としてですね、御利用いただきましたので、それらを含めますと、約そこについては約2,200万円の効果がありました。なおですね、各出店ですね、西平畑公園のですね、売り上げにつきましてはですね、約3,900

万円です。両方合わせますと約6,100万円の西平畑公園と関連する駐車場等
ですね、事業収入については約6,100万円の収入があったということになりま
す。なお、プラスですね、町ですね、商店街等でもいろいろ稼いでいただい
たということもございますので、我々としてのですね、目標は1人当たりやは
り今の桜まつり、1人当たり何とか1,000円をとということで、昨年度ベースで
いくとやはり1億6,000万円をですね、目指していくようなですね、やはりそ
うしていかないと、やはり桜まつりを開いているということがですね、やはり
いろいろ皆さんの税金等も投入していることもありますんで、そこをですね、
一つの目標にですね、今後も進めていきたいと考えているところです。

それから、寄地区のですね、ロウバイにつきましてはですね、今回、約2万
人のお客様に来ていただきました。なお、駐車…失礼しました。入園料につ
きましては、お1人300円とですね、団体割引等がありますので、入園料につ
きましては550万円。それから、管理センターの前とですね、食堂等での売り
上げが350万円、合わせてですね、900万の収入とですね、合わせてこちらのほう
につきましては、バスが定期ということでですね、片道540円ということで
ですね、約1万2,000人の方にバスの御利用していただいていますというデー
タをですね、提供していただいていますので、そのまま概算で掛けますと660万
円ということになりまして、なおかつ、周りのですね、食堂等の方も管理セン
ター等の売り上げも考えますと、やはり1,600万円。単純ですけど、2万人で
割り返すと1人当たり800円のお金を使っていた。こちらのほうにつ
きましては、やはりバス代が片道540円ということでかさみますので、やはり
料金、それから人数が今ちょうど2万人ということでですね、今ちょうどいい
ペースで来ているということもございますので、結果としてですね、800円と
いう数字が出ているのが現状でございます。以上です。

2 番 田 代 丁寧な回答ありがとうございました。積み上げがある程度しっかりしている
のかなということで、すばらしいと思います。桜まつりが6,100万でしたっけ、
6,100万プラスアルファという数字で、民間にも落ちた、そういうことを入れ
ると1億前後なのかなというふうに想像いたしました。

ただあれですよ、バス、送迎バス、河原からの送迎バス、駐車料金、河原

の河川敷の駐車料金、または公園内の駐車料金というのは、やはり必要経費としてかかっているんで、それは行って来いなのかな。でも、それは受益者負担の原則で、ある程度しっかりいただくものはいただいて、それで民間が経営する商店、また松田山が誇る名産品、ミカン等がたくさん売られています。そういったものも含めると、また、小田急電鉄も含めると1億という数字はそんな無理がないのかなというふうに感じます。特に、私も町の中で見ていて、駅前で何か所かでミカン売っています。松田の農家の人がミカンを売っています。それと、公園の中では売店で売っているのが3カ所、それ以外に近くのミカン畑で2カ所、3カ所ぐらい…2カ所ぐらいで売っていますよね。今度おりてくる途中でも売っている。極端に言えば、松田山の貯蔵ミカンは全部桜まつりで売れば、農家に相当な経済効果があると思います。それによって、黒字になって、ミカン畑も放任されないで、ある程度お小遣いになれば継承できるのかなというふうなことで、松田の特産品をある程度そういう形で守れる一つの機会になっているのかなというふうに感じております。

それと、あとロウバイですよね。ロウバイについては平成24年から始まって、まだ7年目なんですけれども、確実に知名度を上げて、今ではやはり県西地区の寒い時期のトップバターとしてマスコミに取り上げていただいて、にぎやかになったと。推測ですけれども1,600万ぐらい落ちていると。富士急行も存続するのに撤退だと言ってる中で、やはり松田町がこれだけ努力してお客を呼ぶことによって、桜でもロウバイでもそうなんですけども、いろんな面で町と協議するときに、いい方向に進んでいくのかなと。交通機関を確保する。そういう面でも貢献しておりますし、地元にも今までその時期に何もお金が落ちてなかったのが、その観光資源の新たな発掘によって、やはり活性化している。これがすごい非常に大事だと思います。

特に関係者の皆様の努力によって、昔はチラシこれだけだったんですね。表と後ろ、副町長あたり十分御存じだと思うんです。桜まつりも1枚ペラ。それが今では何があるかという、ちゃんと商店が載っているんですよね。仕掛けという、あれなんですけれども、お客が来たことによって、こういうふうにお金を落とそうという、名産品を出して、それで駅前、また、西平畑公園の中で

は職員の方、観光ボランティアの方が配って、なるべく町の中を歩いていただくようにしている。一方で、小田原の梅まつり、箱根町の観光協会、瀬戸屋敷のひな祭り、こういったものと広域連携をしながら松田に来てもらおうという取り組み。寄でも同じです。桜まつりほど歴史はないんですけども、やはりこういうお手本があったから、一々申し上げませんが、こういう形で入れているということで、すごい仕掛けがあつていいと思います。ただ、これは一時的な一過性のものだと思います。

そういう中でまず1つ目の私の質問に町長にお答えいただきたいんですけども、いい形で観光資源を発掘して、こういうふうな形ができてきました。でも、これはお祭りのその期間だけなんですよね。そうではなくて、もう少し年間を通した考えの中で、冒頭若干お答えいただいたんですけども、発掘・活用ですよね、さっきの町長のね、発掘したものをどういうふうに活用していくかということではいろいろ施策をやっていられるんですけども、その施策とあわせて、これからのやはりあるべき姿、松田町の町長がお得意のお言葉の、エンジンを回していく、経済のエンジンを回していく、それは私流に理解すれば、松田町にお金を落とすということなんですよね。その辺はすごい理解できます。そういった中でいかにこういう観光資源を利用して松田町が元気になる。その姿、あるべき姿、取り組む姿について、お考えをお願いいたします。

町長 御質問いただきまして、ありがとうございます。観光資源というのは我々が考えているだけの資源じゃなく、ほかの人から見るといろんなものが資源になるというふうに思っています。まず今、手始めにやらせていただいているのは、やっぱり今までやられてきていたいろんな各種イベントをさらなる、さらにちょっと言えば、お客さんたちに理解をしてもらえ、来てもらったとき、また楽しんでもらえるようなことに目線を合わせながらやらせてもらっているというのが現状なところでもありますので、そこの中でどっちかって、今までは点であったものが線でつながっていきながら、面で広がっていくというような格好でやっていくと、だんだんやっぱり経済効果というのが少しずつ少しずつつながっていくことによって、じゃあ私もやってみましょうとかって、俺もやってみようというふうなこともありますし、昨年から地域の方々、また議員さん

にも御協力いただきながら進めているようなこともありますけども。昨年と
としは桜まつりのときだけというふうな格好で空き店舗を使って夢フェスタを
やらせていただいたりしていますけどもね、そういったことも来てもらって
いるお客さんたちには、何かあっちこっちシャッター街だなんて思ってもらいた
くないという気持ちの中でやらせていただいたところでもあります。

今年度の御提案させてもらっている予算の中には、桜まつりのときだけあけ
るのではなく、通じてあけてもらえるようなチャレンジジョブ的なことの中
で予算を活用できないかというふうになんとか工夫したところもありますので、
それはまた改めたところで説明していきますけれども。どんどんとにかく松田
町で商売をするとなると、少しずつやっぱりお客さんも来るし、お客が落ちて
くるんだなって人たちが、どんどんどんどん来てくれると、今度そこを目指し
ているんなお客さんたちが来てくれるように、いろんなつながっていくのかな
なんて思っています。

これからの新しい…新しいといひましようか、なかなかクローズアップをし
てなかった部分で言うと、今回、先ほどチラシの中にあっただかもわかりませ
んけど、寒田神社さんなんかやっぱりこれからもクローズアップされていくべ
きじゃないかななんて思っているところもありますし、延命寺さんであったり、
最明寺公園は皆さん御存じのとおりだと思いますけども、延命寺さんにはぽっ
くり地蔵があったりとかですね、ああいったものが外国の人には結構人気…人
気というか、引っかけがあるというようなこともありますので、我々が発掘
するものと新たな観光客としてのターゲットをまた違ったところに発掘して
いくといったところの両輪で、今後、観光施策をしながら地域の経済、または地
域の潤いを取り戻してまいりたいというふうに考えています。以上です。

2 番 田 代 1 番目の観光資源の発掘に関して、町長の思い入れありがとうございます。
また、寒田神社、延命寺ですか、こういったやはり伝統あるもの、こういった
ものをうまく抱き込みながらという話は共鳴する次第です。

続きましては、2点目の質問です。松田山山頂、これを観光資源として活用
できないかということで、これについては少し今の1つ目の質問からすると地
味な質問になると思いますけれども、やはりちょっと私自身もそうなんですけ

ど、漠然と松田山って感じていたんだけど、あるときに、あ、山頂を売り出してない、山頂があるのに売り出してないということを思いました。山頂はどの辺にあったのかなと思って。初め年配者の70から80代の方に次々お伺いしてみました。10人ぐらいお伺いした中で、3人ぐらいの方からお話いただいたのが、松田のここからだちょっとわからないんだけど、開成町とか、小田急線に乗って松田山を見ると、今は田代君、平らなんだよと。昔は中央にちょっと小高くて、左側のほうにも小高いのが、何かそんなあれがあるよというお話を伺いました。そのような中で松田山ってどうなんだなって考えるようになりました。

そこでまず1点、町長にお尋ねします。松田町に富士急バスの路線走っているんですけど、松田山入口というバス停があります。それはどこにあるか、町長御存じでしょうか。

いいです。町長は苦しんでおりましたので、副町長どこにあるでしょうか。

副町長 ありがとうございます。私に、実は私の家の近くなんですけども、桜観音さんございます。あその桜観音踏切さんのその前ですね、のところに中尾農道ですか、に通じるところにバス停がございます。

2番田代 副町長、職員時代から毎日歩いてきた場所なんで、よく御理解いただいております。松田山入口ってバス停があるんですよ。自分自身も松田山だから山頂ってイメージはなかったんですね。当時これ昭和40年代後半だと思うんですけども、ハイキングコースをつくったときに、今の副町長が回答になられた桜観音の入り口から最明寺公園までですね、行って、根石におりてくる、根石というのは私の住んでいる集落なんですけども、山北と松田の境におりてくるという、そういうハイキングコースがありました。で、先ほどお話ししたように、山頂という意識は余りなくて、当時はまだミカンのいい時代です。松田山といたらミカンのなりわいの山だと。皆さん専業農家でミカンをつくっていた時代ですから、余り観光で売り込むという意識がない中で、町も少し観光に力入れて、古い資源発掘してぐるぐるって歩いてもらおうよという形でできてきたのが昭和40年代後半なのかなというふうに感じています。その後、今お話ししたように、チェックメイトによってある程度山を造成して平らにしたと。

要するに、高いところを取って、北側に擁壁をつくって、土を入れてゴルフがしやすく、遊べる土地をつくり上げたということで、それに関しては賛否とかそういうのは全然議論するつもりはないんですけども、まちづくりのためにそういうふうなことでやった。

したがって、地図で見ると、国土地理院が出している地図で結構古くから出ているんですよね。明治、大正期の地図、それと昭和前期の地図、ここになるかな、引っ張り出したもので確認すると、ちょうど今お話しした防災無線の鉄塔近くに551メートルの地点があります。多分ここにあったのかなと思うのが、それからずっと東ですね、東に行って、12番ホールのTショットをするところあたりなのかな、あそこから見る景色ってかなりよかったですけども、その辺に山があったのかなと。古い年の人のお話だと、小高い山があったよということで、私はそこにあったと思います。それがいろんな事情で今の551.5メートルが現行の山頂なんですけれども、ここをやはりもう少し売り出していいのかなと。いろんな回遊性とか考えたときに、やはり山頂っていうのはシンボルだと思います。ただ、一番我々が気をつけなきゃいけないのが、チェックメイトの13番ホールのグリーンのところのすぐ隣接しているところにある。そういった形で多分松田の幹部の人は承知されていたんですけども、何か動けなかったのかな。そういう背景があって、松田山山頂というのは世に出なかったと。私はこれから、これは今ここで提案しているとおり、やはりうまく合法的な形で売り込んで、やっぱり松田のシンボル、新しい観光名所にしたいと思うんですけども、副町長その辺は経済でいろいろ仕事されたんで、どのようなお考えを持っているか、お答えください。

副町長 確かにですね、私も経済並びにまた建設課のときですね、あその松田山みどり風自然遊歩道ですか、この整備に携わりました。先ほど議員よりお見せいただいた写真の中に、道標もございました。実は私の記憶でいくと、平成22年か23年のころですね、あそこをちょっとルートを変更したことがございます。今まではですね、以前はもう少し低い場所というんですかね、地形的に言うと低い場所、山北に近い場所ですね、寄のほうにおりていたといった経緯がございました。そこが先ほどちょっと田代議員からもお話がありました、山北町

の土地になるということですので、そこをまず一つルートから外そうよと。別のところにルートを回そうよといったところで、やはり景観がよいところをルートとして選定をしたところが、先ほど写真を見せていただいた一番小高いところですね。そこにまず目をつけました。

それで、私も現地、当時行ったところですね、現地からチェックメイトさんのほうのコースを見ますと、先ほどから話が出てました、13番のTグラウンドまで見えてしまうといったところがございました。そうすると、ゴルフをやっているプレーヤーの方々から見ると、ハイカーの人たちがまず目に入ってしまうというのが1点、それとやはり話し声が聞こえてしまうということで、ましてや、何ですか、グリーンに近くなって、プレーの邪魔になってしまうというこの2つがありました。それと、ハイカーから見ると、ボールがですね、飛んでくる可能性があるといった危険性があるということで、ちょっとそこをですね、断念して、今現在のルート、ちょっと低い場所になりますが、そこに隣接したところにルートを振ったという私が計画をした記憶がございます。それで今に至っておるんですけども。この辺、先ほど写真を見た中でですね、やはり一番富士山がよく見える場所というところですね、何とかそこに休憩所をとるところもこの当時考えたんですが、やはり先ほど言いましたプレーヤー、チェックメイトの配慮というんですかね、これとハイカーのその危険性、安全性を確保するといったこの点からですね、ちょっと断念はした経緯はございます。ただですね、そういった中でですね、そこに近い場所での景観がよい場所を見つけた中でですね、休憩場所といったところは今後、考えられる可能性はあるというふうに思います。以上でございます。

2 番 田 代 的確な回答ありがとうございます。今のお話、これが多分山頂付近なのかなって、ここに柵があるのはもうすぐ下の13番のホールですか、それがもうグリーンが見えてしまうと。ここまで来てお客が話した、確かにおっしゃるとおりだと思います。そこでチェックメイトと協議して、何とかやってほしいなと私は思うんですけども、手前、この写真の手前に柵をしていただいて、奥に入れないようにして、ここが山頂だよということで道標、松田山山頂551.5メートルという表示と、あとはゴルフ場の迷惑にならないように、ここがそうなん

だということ、ひとつできないかなと。

あとは今のこれから、この場所からちょっと手前です。先ほどお出しした副町長が何か提示したような実績があるみたいですね。ここですね。この場所がわずかに10メートルぐらいしか山頂から離れてないと思います。そこはね、ほんとの雑木をちょっと伐採しただけで、先ほどお見せしたこの富士山がもうほとんど見える。ちょっと外して見ればこういう景色なんですけど、雑木を少し整理すると、すごい形できれいに見えますし、北側にはやっぱり丹沢山塊から大野山も見えますので、その辺はすごいお金をかけて発掘という1つ目の考えとは違って、今ある観光資源を少し肉づけする。それによって最明寺まで来た人が、徒歩の人が上まで上がれる。その辺は比較的町長はスピーディーにこうね、いろいろ物事をやっていただいているんですけれども、道標の設置、あと遊歩道内に案内板である程度回遊性、それであとはゴルフ場に迷惑をかけない。そんな対策ができないかなと。それが短期決戦かなと思います。

特にね、これこの間の観光協会の理事会でね、JRの松田駅長から渡されました。JRではね、「さわやかウォーキング」こういうのをやっています。この中でちゃんと出ていますよ。2月29日（日曜日）、新、新しい新規の企画です。富士山ビュー、西平畑公園と、この後なんだ、大井夢の里の早咲き桜をめぐる里山散歩、出ているんですよ。場所が御殿場線松田駅から西平畑公園、ハーブガーデンから最明寺、その後はおりてしまって、大井夢の里なんですよ。で、足柄温泉、いこいの村で、大井町と。それを松田山はやっぱり山頂551.5メートルから富士山を見ようと。まさにこれ富士山ビューですから、何かそういった形で交通機関と連携していく。これはJRなんですけど、小田急ともできます。当然町のパンフレットにも入れることができると思います。

そこからなんですよ。これが2つ目の話なんですけども、中期的にはもう少し今、スピーディーにやっていただいたと。中期的にはもう少し石碑にしたりだとか、頂上からちょっと離れた安全な場所に、見晴らしいのいい場所にあずまの整備、そういったものをしていただくと同時に、先ほどの話じゃないですけど、商業とか農業、そういったものとの連携、町長初めの挨拶でもあったとおり、桜まつりとロウバイまつりは一時的な、季節的なものなんですよ。

ね。短期間の集中。そうではなくて、やはり松田に来たときに、最明寺公園に行つて、松田山へ行つて、帰りには町の駅、またはあそこの店で、こんないいものを買つていこうよ。足柄牛を買つていこうよ。ミカンを買つていこうよ。あそこの店に行つて、あのうまい料理を食べようよと。そういう形の中で、特に町に金が落ちる仕掛け、それをある程度周年、一年中全ては無理だと思うんですけれども、今みたいに季節的の短期的なものではなくて、もう少し恒常的に稼げる仕掛け、これについて強く要望したいと思います。

最後に、ちょっと時間1分になってしまいましたけど、町長、そのことに対する町長のお考えをお願いしたいと思います。

町長 ありがとうございます。今は観光事業というものが、非常に商工業が中心になっているというふうに思っています。よく言われるのがDMOというような表現で、観光事業を中心として地域の経済を回していこうというようなことの動きを、観光協会の中でもことし1年ずっと研究をしながら来年一般社団法人化の中で、そういった理念を持って進めていこうというようなことは実はあります。その中、今ある商工業の方々、農業・商業の方々とは別個別個ではなくて、全てがつながることによって、それを観光事業として観光農園化すること等に連携していこうというような思いの中で今進めているところで、桜まつりのパンフレットにしてもいろんなものがつながっているというような、一つになっているというのも事業の一つですので、これからとにかく観光事業の、要は何も手をつけなくて、ブラッシュアップもしなくて、だんだんお客さんが飽きられるような事業でなく、今、田代議員からおっしゃられるように、今あるものをさらにブラッシュアップして発見をしながらやっていく。そのときに必ず財源という話が出てきますけども、松田町だけでなく、その延長上にこっちの方面だったら山北さんとの連携をすることによっての補助金があったりだとか、そういうものもあつたりしますので、ぜひともですね、とにかく一緒にやりながら、松田も当然松田なりにやらなきゃいけないこともありますけども、しっかりとした格好で地域経済を回していくことによって、今までの荒廃農地だとか、ああいったのもなくなって、皆さんが潤っていくような地域づくりに邁進してまいりたいというふうに思いますので、今後も今回のような御提案

等々あれば、ぜひいろいろ教えてください。よろしくお願いいたします。以上です。

2 番 田 代 時間がなくなっていました。最後に、簡単に道標ぐらい設置して売り出
していただけるという解釈でよろしいですかね。

町 長 そんなに時間をかけずにいろいろ検討して、御希望に沿うようなところに努
力をしてまいりたいというふうに思います。以上です。

2 番 田 代 的確・明快な回答ありがとうございます。よろしくお願いいたします。質問終わ
ります。

議 長 以上で受付番号第3号、田代実君の一般質問を終わります。